

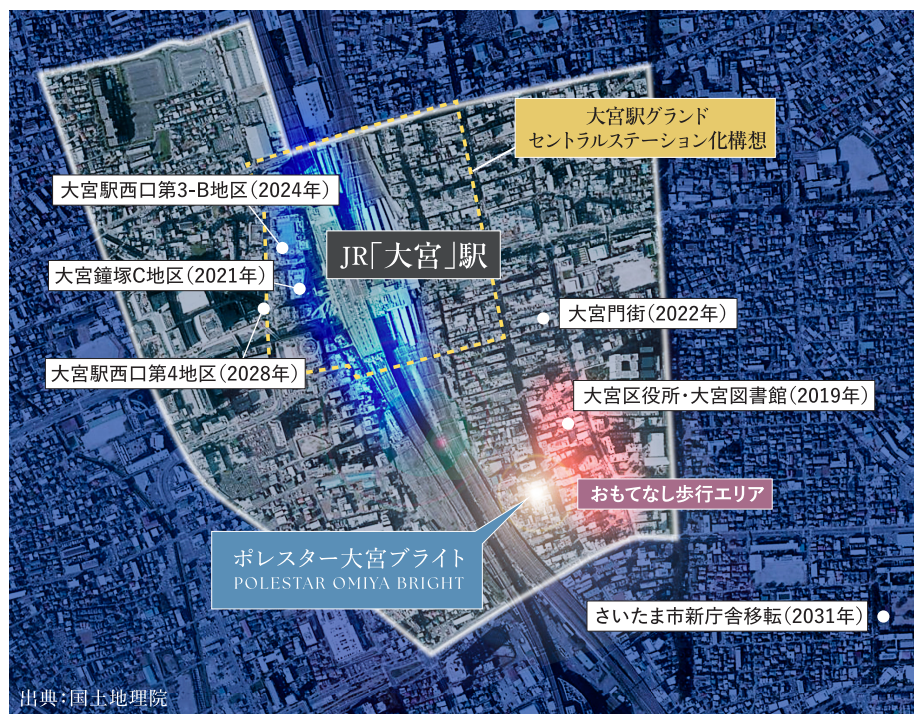
現在進行形の大宮駅周辺の再開発

大宮駅周辺をはじめ、さいたま新都心エリアでは再開発によって
ますます便利に生まれ変わろうとしています。

都市再生緊急整備地域

都市再生緊急整備地域とは、

都市再生特別措置法に基づき都市再生の拠点として緊急かつ重点的に市街地の整備が推進される地域であり、埼玉県では本物件が位置する「大宮」駅、「さいたま新都心」駅、「川口」駅の周辺3エリアのみが指定されています。



将来への期待が高まる

大宮駅グランドセントラルステーション化構想

さいたま市では、「大宮駅グランドセントラルステーション化構想(GCS構想)」のもと、駅前広場や交通動線、周辺街区の再編を推進。大宮駅を核とした大規模都市再生が本格化しています。暮らすほどに駅周辺の進化を目の当たりにしていくこととなり、成長を続ける街への期待が膨らみます。

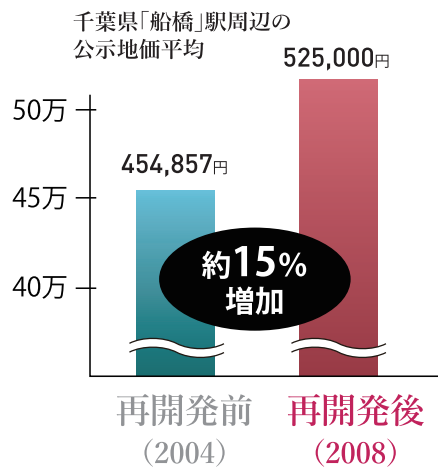
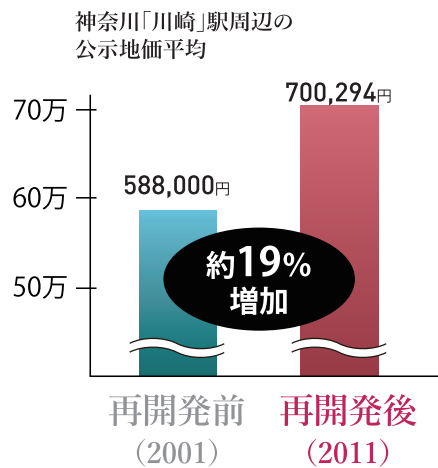
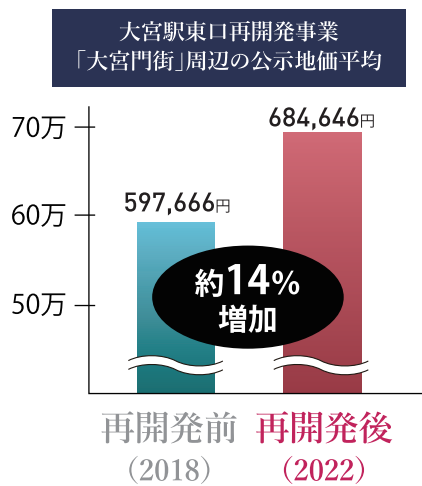
出典:さいたま市ホームページ



大宮駅グランドセントラルステーション化構想

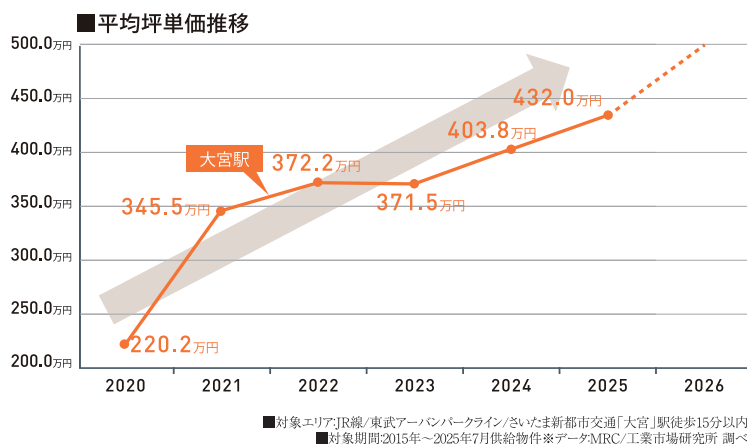
再開発や土地区画整理が行われた駅は 資産価値に期待が持てる!?

大宮区の中でも吉敷町に限定してみると、直近10年の公示地価は上昇の一途。10年前に比べて約30万円以上もアップしており、東口・駅徒歩圏であることや、さいたま新都心へもつながる立地の価値に対する評価の高さが伺えます。



今後のマンション価格の展望

首都圏の価格高騰により、周辺の主要エリアにも需要が流れ、地価上昇へ繋がって行きます。大宮でも2021年以降単価は急騰し続けています。さらに、建築費の高騰もあり、5年10年と長い目で見るとわかりませんが今後すぐにマンション価格が極端に安くなることは難しいと考えられます。



まとめ

再開発が行われると、その利便性や快適性で街が発展して賑わい、
住まいの需要などの高まりも相まって、地価の上昇へとつながります。